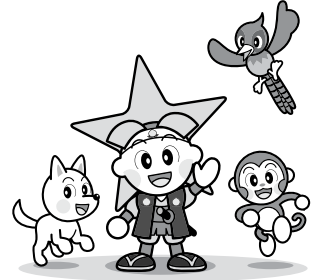




林 声



岡山県マスコットももち
No. 409 . 2010 . 1 . 1



NPO法人「ふれあいの里・高梁」による自然観察会（P 6 に関連記事）

目 次

新年のごあいさつ	2	森林ボランティアグループの活動紹介 ...	6
事業紹介	3	研究だより	7
普及情報	4	お知らせ	8
普及指導区の紹介	5	林産物市況	10

新年のごあいさつ



岡山県林業改良
普及協会会長
井手 紘一郎

新年あけましておめでとございます。
会員の皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素から当協会の運営につきましては、格別の御支援、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は八月末の総選挙で政権が交代するなど激動の年でありました。また、首相が国連総会で二〇二〇年までの温室効果ガス二五削減を宣言されたことにより、今後さらに森林整備による温室効果ガス吸収源確保に大きな期待が寄せられることが考えられます。

このような中、岡山県においては、「岡山県地球温暖化防止等間

伐推進五カ年計画」（平成二〇一四年）を樹立し、六千畝の間伐実施に取り組んでおりますが、さらに平成二十一年度からは国の補助事業である「緑の産業再生プロジェクト」（森林整備加速化・林業再生事業）により、森林整備の加速化と間伐材等の森林資源を活用した林業・木材産業の再生を図ることとされております。

また、森林保全事業のさらなる推進のため、平成十六年から五年間にわたり実施してきた「おかもま森づくり県民税」事業が平成二十一年度から五年間延長されるなど、当協会といたしましても、心強く感じているところでございます。

このように、森林整備への期待が高まる中、当協会といたしましても、地域林業の中核となる林研グループ会員等を対象に、間伐先進地での実地研修や、林研グループ交換研修大会を開催するなど、会員の皆様の技術力の研鑽、連携強化を図るとともに、一人でも多くの方が林業経営意欲を取り戻し、間伐等の森林整備に取り組めることを目指しております。

昨年の世相を表す漢字一文字は「新」でありました。岡山県においても台風第二十三号による風倒木被害地の復旧が計画どおり完了し、新たな一歩を踏み出した年でもあります。

森林は水源のかん養などの公益的機能の維持向上や、生物多様性の保持に加え、温室効果ガスである二酸化炭素を出さない循環型資源として注目されているほか、二酸化炭素の固定源としての木材需要が増えることを期待するところでもあります。


今後とも、森林整備への意欲が一層喚起され、産業としての林業が活力を増していくよう、県、市町村、林業事業体など関係機関等と連携を図りながら、林業技術の普及、後継者の育成、地域林業の振興などの一翼を担ってまいり所存であります。

会員の皆様の一層の御支援、御協力をお願いいたしますとともに、それぞれの分野でますます御活躍されることをお祈り申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。



迎春

緑あふれる環境づくり

 株式会社 **山 都 屋**

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号
TEL(086)272-2161 FAX(086)272-2142
<http://www.yamatoya-net.com>
大阪営業所 津山営業所 水島営業所

事業紹介

おかやま森づくり県民税 事業の取組状況について

「おかやまの森林資源活用推進事業」

おかやまの森林資源である県産材の利用促進は、林業・木材産業を活性化させ、森林の適正な整備に貢献するとともに、二酸化炭素の貯蔵体である木材の利用を通して地球温暖化の防止と循環型社会の構築に寄与します。

県では、おかやま森づくり県民税を活用して本年度から実施している「岡山の森林資源活用推進事業」で森林資源の循環利用を推進する取組を支援しています。

【取組主体】

岡山県木材組合連合会

【県産材安定供給体制づくり検討】

製材業をはじめ、建築士、大



県産材の需要開拓と安定供給を目指して

工・工務店等の建築業界、消費者及び有識者で構成する「県産材安定供給体制づくり検討

会」を設置し、生産者、加工・流通業者、消費者の連携による県産材の安定供給体制づくりについて検討する。

【木質バイオマス活用検討】

間伐材等県産材の有効活用に向け、県北部の森林組合と木材組合で構成する「おかやま木質バイオマス活用検討会」を設置し、林地残材等の未利用の木質バイオマスを低コストで搬出し、燃料等に利用する取組を調査・研究するなど、バイオマスの新たな利用開発や原料の安定供給体制づくりについて検討する。



山土場で燃料用チップに加工

県産材の利用に関わる業界が連携したこれらの取組により、木材が幅広い分野で利活用されることで森林の適正な整備が促進されることはいうまでもありませんが、県産材の安定供給体制の整備により森林資源の循環利用が推進され、二酸化炭素の貯蔵による地球温暖化防止に貢献することが期待されます。（林政課林業木材班）

治山・林道事業での 木材利用

岡山県では公共事業において環境や景観に配慮して自然素材である木材の利用を積極的に推進しております。

治山事業では、主に丸太筋工、

落石防護壁緩衝材、転落防護柵等へ木材を利用してはいますが、木製ダムや、生活環境保全林の施設にも多く利用してきました。

しかし、事業量の減少により、用途も限られ利用量の伸び悩みが見られるようになってきたため、本年度からコンクリート製治山ダムの上流側では原則として木製残存型枠を使用することとして、利用の拡大を図ることにしました。木製残存型枠には様々なタイプがありますが、施工性等を勘案して約10cm×10cmの角材使用を標準としています。

林道事業では、丸太・パネル伏

工、木柵工及び丸太筋工等で木材を利用してはいます。

また、昨年度まで実施した「風倒木等活用林道整備事業」により市町村営事業でも木材利用が定着してきています。

しかし、治山事業同様に木材利用量が減少傾向にあるため、これまで実証試験を行い、法面緑化工事で発芽と生育の検証を行っていた木材チップを利用した厚層基材吹付け工を、本年度から本格的に実施し、木材の利用拡大に努めているところです。

この工法は、林道の開設現場等で発生する小径木や根株をチップで破碎し、種子や肥料等と混合して法面に吹付けて緑化を図るものです。

木材チップ吹付け工の施工現場
森林基幹道「因美線」



（治山課治山班・林道班）

木製残存型枠
の設置状況

普及情報

「低コスト作業路の作設」

森林施業を効率的かつ効果的に実施するため、路網と高性能林業機械を組み合わせた低コスト・高効率な作業システムの整備が必要となっています。

この場合、路網整備については、効率的な作業システムに対応し得るよう、林道と作業道、作業路を適切に組み合わせ、より効率的な施業のための路網整備を行う必要があります。

そこで、岡山県では高性能林業機械と一体となった、簡易で耐久性のある路網整備の推進を図るため、「低コスト作業路の作設マニュアル」を作成しました。

一 作業路の規格・構造

平面線形は、等高線を考慮し切盛法高を抑え、できるだけ路側構造物の設置が少なくなるような線形を配置します。

幅員は、林地の保全と路体の保護を図る観点と、使用する高性能林業機械等の種類及び規格を勘案し、通行の支障とならないよう必

要最小限の幅員を確保します。

なお、フォワーダは接地幅の一・二倍以上を目処に確保します。

曲線半径は、使用する高性能林業機械等の機械区分及び生産する材の長さ等を勘案し決定します。

また、フォワーダについては、急勾配の前後に半径の小さな曲線を設置することは、安全面から出来るだけ避けるようにします。

縦断勾配は、平面線形と同様に切盛法高や切盛土量の抑制、災害防止を図るため、地形等を考慮した波形線形を採用します。

二 作業路の作設

作設工法については、表土ブロック積み工法を中心とした手法を採用し、現地発生材の石や支障木、伐根等を活用した作設を行います。

切土の高さは、伐開幅及び掘削土砂量の抑制等の観点から、土質等を勘案して、一・五m程度の直切りを基本とし、切土際の立木については、できるだけ残し、根による緊縛を行い、切土法面の保護を図るようにします。

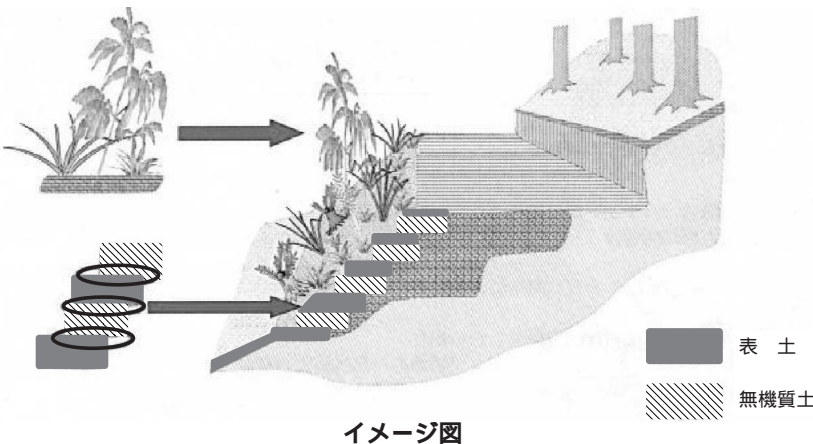
盛土は原則として、表土ブロック積み工法により、一層当たり三〇m程度ごとに盛り立て、掘削機

械の覆帯により、十分な転圧を行いつながり積み上げ、締め固めを行います。

作設により生じる伐根は、路体には埋設せず、盛土法面に設置することにより、伐根やその周辺に付着している植物の種などから早期に緑化できます。

三 表土ブロック積み工法とは

樹根などの繊維質を多く含んだ



イメージ図

表土と無機質土を交互に積み重ねて置くことで、盛土法面の無機質土のすべりを少なくし、法面の表面に表土があることで、草本類の種子に発芽を促進し、緑化を早める効果が期待できるとともに、法面の安定を図ることができる工法です。

四 おわりに

低コスト作業路は、単に安価に作設できるというのではなく、あくまで高性能林業機械と組み合わせ、効率的な作業を行うことにより、施業の低コスト化を図るものです。

また、壊れにくい作業路を作設することで、補修等も容易であることから、長期的な観点からも低コストであると言えます。

なお、「低コスト作業路の作設マニュアル」は、一つの作設方法を示したものです。作業路の作設技術は日々進化しており、各現場において、優良事例等を参考にしながら創意工夫を行い、地域の実情や作業システム、地形・地質等に柔軟に対応した作業路の作設を行う必要があります。

(林政課 林業普及指導員)

普及指導区の紹介

真庭普及指導区

一 はじめに

真庭普及指導区は県の北西部に位置し、真庭市及び新庄村をエリアとし、林野率八〇％、人工林率五八％で、岡山県内でも早くから人工造林が進んだ地域です。

二 普及指導区の取り組み

間伐の推進

管内の間伐を必要とする人工林は五七％あり、間伐の実施が緊急の課題となっています。このため、市や森林組合と協力し、造林事業をはじめ、森林整備加速化・林業再生事業等にも取り組み、作業路等の基盤整備を進め、低コストによる間伐の推進に努めています。

地域全体での木材利用の推進

真庭地域では、「木質バイオマス先進県おかやま」の実現を目指し、木質バイオマスの活用を進めるため、林地残材の活用等の先駆的な取組が行われています。

当普及指導区としても、平成二十年度から「未利用木質バイオマス収集・利用モデルシステム」を現地に導入するため、森林所有者や森林組合との協働事業により、

効果的な収集・搬出・利用方法など、地域ぐるみでそのシステムの構築に努めています。



林地残材のチップ利用推進

三 普及指導員の紹介

当普及指導区では次の五名が配置されていますので、森林・林業・木材産業等に関する相談がありましたら、お問い合わせください。

岡本安順(特用林産、森林保護)

木村淳二(林産)

小川章子(育児休業中)

石原則男(林業経営、造林)

藤本昌太(林業機械、機能保全)

(連絡先)

真庭市勝山五九一

美作県民局真庭地域森林課

電話(〇八六七) 四四 七五六六

(林業普及指導員 木村 淳二)

津山普及指導区

一 はじめに

津山普及指導区は津山市、鏡野町、美咲町、久米南町を区域としています。この区域には県下の森林の約十九％が含まれており、その割合は県下の九普及指導区の中で最も高い率となっています。

また、この広大で充実した森林資源を背景に岡山県における林業・木材関連産業の中核地域となっています。

二 普及指導区の課題と取り組み

林業の盛んな津山普及指導区ですが、他の地域と同様に森林・林業を取り巻く環境は大変厳しい状況です。

平成十六年の台風被害の復旧は完了したものの、復旧は緊急性を要し、多量であったため、間伐事業は遅れがちとなつてしまいました。また、木材価格に大きな好転はなく、林業従事者の高齢化も大きな不安要因となっています。

このような状況の中で、森林を健全な状態で維持し、林業・木材関連産業の振興を図るためには、素材生産経費を縮減させることが最も重要であると考えられます。

このため、津山普及指導区では、

管内の3森林組合に働きかけ、すべての森林組合が低コスト実践モデル団地の設定を行い、効率的な素材生産に取り組んでいます。

また、平成二十一年度からの国の経済対策事業にも積極的に取り組んでいます。

三 スタッフ紹介

津山普及指導区では八名の林業普及指導員が活動しています。森林・林業、森づくり等に関することとで、相談等がございましたら、お気軽にご連絡ください。

森林企画課林業振興班

今津 学(地区主任)

檜尾彰久(森林機能保全)

黒瀬勝雄(林業機械)

福見照芳(林産)

安東 誠(森林保護)

浅浦宏之(特用林産)

森林整備課第一班

旦 良則(林業経営)

若林 彰(造林)

(連絡先)

津山市山下五三

美作県民局森林企画課林業振興班

電話(〇八六八) 二三 一三七七

(林業普及指導員 今津 学)

勝英普及指導区

一 はじめに

勝英普及指導区は、県の北東部に位置し、美作市・勝央町・奈義町・西粟倉村の四市町村を活動エリアとしています。

指導区内の森林の状況は、森林面積が四万五千^{ヘクタール}、林野率七四^{パーセント}、人工林率五二^{パーセント}となっており、指導区北東部の粟倉地域を中心に県下でも比較的早くから人工造林が進められてきたことから、着実に森林資源が充実してきています。

二 普及指導区の主な取り組み

間伐の推進

台風による風倒木処理がおおむね終了したことから、今後は、森林組合・市町村と連携し、各種補助事業を活用して間伐の一層の推進を図ります。

森林作業体験イベントの開催

勝英地域美しい森づくりの会が中心となって、旧「東粟倉美しい森」・「おかやま共生の森・勝北」で参加型森林作業体験イベントを開催しています。

企業との協働の森づくりへの支援

平成二〇年八月に「NTN(株)岡山製作所」が、平成二十一年十月に「住友ゴム工業(株)」が美作市と市有林の利用協定を締結し、美作市上山地区で企業との協働の森づくりを開始しています。

当普及指導区では、対象森林の選定から森林作業の技術指導までさまざまな支援を行っています。

三 普及指導員の紹介

当普及指導区では、次の四名の林業普及指導員が活動を行っています。

森林・林業や木材産業、森林作業の体験などについての御相談がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

- 近藤和夫(地区主任・森林保護)
- 下境一郎(林業経営・森林機能保全)
- 山本勝範(造林・林業機械)
- 湯浅秀通(林産・特用林産)

【連絡先】

美作市入田二九一 二一
美作県民局勝英地域森林課
電話(〇八六八)七三 四〇五八
(林業普及指導員 下境一郎)

森林ボランティアグループの活動紹介

「特定非営利活動法人ふれあいの里・高梁」について

高梁普及指導区

一 はじめに

県民参加の森づくりを推進するため平成七年頃、県下各地域で美しい森づくりの会が結成されました。当法人も高梁地域美しい森づくりの会を前身としています。当初は県主導で手探りの状態から始まりましたが、小見山会長(現NPO理事長)の熱意と指導力により活動の輪が広がり、平成一七年三月に「特定非営利活動法人ふれあいの里・高梁」として発足しました。

二 活動の紹介

NPO法人設立後は県の委託事業にも独自の工夫を取り入れているほか、新たな取り組みも積極的に展開しています。

企業と協働した森林整備活動
NPOが地元から活動用地の提供を受け、企業の社会貢献活動としての森林整備活動と交流イベントを受け入れています。平成一八年から年三回行うこの活動は毎回

一五〇人程度が参加する一大イベントとなっています。



JOMOの森活動状況

県民参加の森づくり・共生の森林整備活動のほか、自然観察会や木工体験などを通じて森林環境教育にも力を入れています。昼食交流会と毎回違う体験活動は人気で、一般参加に加え大学生や小学生と幅広い参加を得て賑やかな催しとなっています。

三 おわりに

当NPO法人はこうした活動が評価され、平成二一年度の『おかやま夢づくり推進大賞』を受賞されました。今後も森林整備に取り組みボランティア団体のモデルとして活躍されることを期待します。

(林業普及指導員 竺原光男)

研究だより

竹林をどうする？

岡山県林業試験場

専門研究員 石井 哲

一 拡大する放置竹林

竹の需要が低迷する中、全国的に放置竹林が拡大し、里山林荒廃の原因となつていきます。今回は、その竹林の取り扱いについて、検討してみました。

二 楽に伐採し、駆除する

新竹を六月末までに伐採

竹林の拡大で困っている皆さんのために、これら放置竹林を楽に伐採する方法について、検討してみました。竹を楽に伐るには、若いうちに伐採することにはありません。では、何年生までか？実は何年ではなく、何ヶ月とというのが正解です。モウソウチクの場合、本県では通常、三月末頃から発生し、六月末頃までには伸長成長を終えています。その時期までに伐ると楽にできます。実際に伐採、玉切りの時間を計測したところ、有意な差が認められませんでした(図1)。その後、次第に稈が硬くなり、翌年二月以降では、

伐採時間に古竹との差がみられませんでした(図2)。なお、一年生の竹を伐採する場合、稈は腐りやすいため、材としての利用はできません。しかし、五月中旬頃までに伐採すると、食用として穂先筒の利用が可能ですので、是非、ご興味ください。

高さ一桁以上で伐採

モウソウチクの場合、地上高が高くなると、径、肉厚とも減少し

てきます。従って、高さ一桁以上で伐ると根元で伐る場合に比べ、約半分の時間で伐ることができました(図3)。但し、バイオマスとして利用する場合は、根元部分の方が太く資源量がありますから、この部分から伐採し利用すべきだと思われます。

三 竹を利用する

地球温暖化防止に向けバイオマスの地産地消が提案されています。国では成長が旺盛な竹に注目し、燃料としてのチップ化や建材としての繊維化などを進めています。本県においても、竹の炭化利用を進めるため、市民レベルでの取組が可能な簡易軽量炭化炉を開

発し、各地で講習会が開催されています。

四 竹の資源量は？

同じモウソウチクでも、地域により樹高、太さが異なり、また、竹の種類や林齢などによっても違ってきます。一般に竹の資源量は森林計画上で面積は把握されていますが、竹の種類や林齢は不明で正確な資源量は殆ど判っていません。今後、各地域で竹のバイオマス利用を進めるためには、正確な資源量を把握する必要があります。さらに伐採後の再生量など管理・利用に伴う資源量の変化についても研究が必要と思われます。

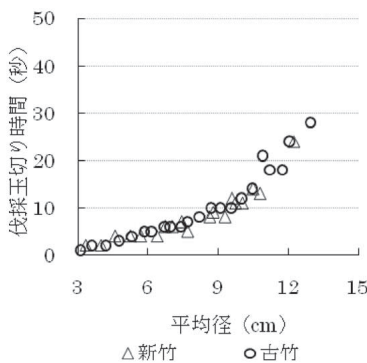


図2 径別伐採玉切り時間
注：2月伐採

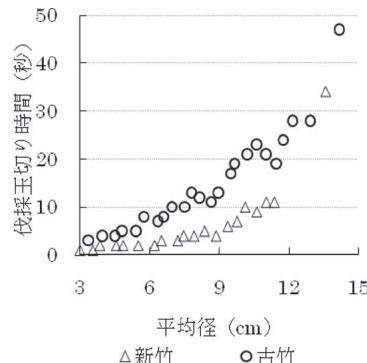


図1 径別別伐採玉切り時間
注：6月伐採

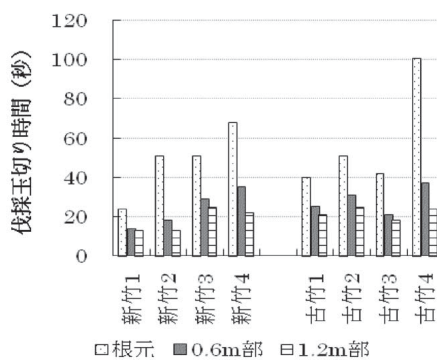


図3 個体別伐採玉切り時間



廃力キ筏竹の炭焼き(備前市)

お知らせ

「森林病害虫防除機具の貸付について」

県では、地域住民の方々による自主的な防除活動を支援するため、「森林病害虫等防除センター」を設置し、防除に必要な各種機具を無償で貸し付けています。

主な防除機具

- ・ 移動式チップパー 三台
- ・ 移動式炭化炉 七基
- ・ 自動薪割機 六台
- ・ 簡易搬出機 五台
- ・ 動力噴霧器 九台
- ・ チェーンソー 五台
- ・ 林内作業車 二台
- ・ ミニショベル 一台

貸付対象者は、森林所有者などで組織する団体や市町村等で、貸付料金は無料です（ただし、燃料費・運搬費・保険加入等は借受者負担）。機具は、指定された場所、日時に受け取ってください（通常、機具は林業試験場（勝田郡勝央町植月中一〇〇二）にあります）。申請方法及び詳細については、最寄りの県民局森林企画課へお問い合わせください。

（林政課森林保全班）

「岡山県林業試験場研究発表会を開催します」

岡山県林業試験場では、森林・林業に係る試験研究に対する理解を深めていただくため、次の日程で研究発表会を開催します。

一 開催日時

平成二十二年二月十六日（火）
一三時三〇分から一六時まで

二 開催場所

勝田郡勝央町勝間田

勝央町公民館（町役場隣）

三 発表課題

- ・ 大型簡易軽量炭化炉による炭焼きについて
- ・ 最適作業システム判定方法の確立について
- ・ マツタケが発生しやすい土壌条件について
- ・ サビマダラオオホソカタムシの人工増殖について
- ・ DGPSを使った森林測量について

なお、出席を希望される方は、平成二十二年二月三日までに、最寄りの県民局の森林企画課又は、地域森林課までお知らせください。

（林業試験場 業務部）

「平成二十一年秋の叙勲受章者の紹介」

平成二十一年十一月三日付けで秋の叙勲の受賞者が発表され、長年、林業の振興に尽力された山中守正氏が受賞されました。心からお祝い申し上げます。

〈瑞宝単光章〉

山中守正（鏡野町）

主な役職 元作州かがみの森林組合作業班長

功績 林業業務功労

（林政課 普及指導班）

材芝工
器種施
苗各・
種樹計
用園設
化公園
緑庭造



菁芳園

株式会社

岡山市北区東古松2丁目10-28
電話 222-4038



高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う

美津吉商事株式会社

津山市一方 194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255
<http://www.mitsuyoshi.com/>

森林林業関係イベント参加者募集中

実施年月日	開催場所	イベントの名称	問い合わせ・申し込み先
H22. 1.17(日) 9:00~12:30	櫛の杜 (井原市門田町地内)	櫛の杜塾・第117回杜の市 (特産品の販売など)	櫛の杜塾 会長 藤井直彦 TEL 0866-62-5685
H22. 1.23(土)	おかやま共生の森・吉永 (備前市吉永町加賀美地内)	おかやま共生の森・吉永 保育(間伐)のつどい	備前県民局農林水産部東備地域森林課内 東備地域美しい森づくりの会事務局 〒709-0492 和気郡和気町和気487-2 TEL 0869-92-5166・FAX 0869-93-1137
H22. 1.30(土)	おかやま共生の森・井原 (井原市西江原町地内)	おかやま共生の森・井原 保育のつどい(第3回 間伐)	井原市森林組合 〒714-2111 井原市芳井町吉井218-2 TEL 0866-72-0161・FAX 0866-72-1267
H22. 2.21(日) 9:00~12:30	櫛の杜 (井原市門田町地内)	櫛の杜塾・第118回杜の市 (特産品の販売など)	櫛の杜塾 会長 藤井直彦 TEL 0866-62-5685
H22. 2.27(土)	おかやま共生の森・川上 (高梁市川上町高山市地内)	共生の森保育のつどい (間伐第2回)	NPO法人ふれあいの里・高梁 〒716-0038 高梁市浜町1285-1 TEL 0866-22-1000・FAX 0866-22-1741

優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造 森産業株式会社
総発売元

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104
TEL 岡山(086)805-7033(代)

木を通して環境保全に貢献しています

公園修景施設・土木用資材
防腐処理・ログハウス・デッキ

さんもく工業株式会社

〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号
TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130

KOMATSU

コマツ建機販売株式会社 中国カンパニー

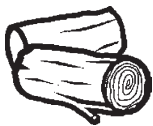
津山営業所 津山市皿524番地 TEL: 0868-28-2261



PC78US-8 Valmet330DUO



PC138US-8 Valmet350



林産物市況



木材 (12月9日)

単位：千円/m³

樹種	長さ	径級	直材	小曲り	概況		
杉	3m	7~13	本250	-	本140	出荷材積 約1,400m ³	
		14~16	11.5	-	8.5		
		18~20	9	-	8.5		
		22~24	8.5	-	6.5		
	4m	7~13	本300	-	本200	杉 中目材 横ばい 柱材 横ばい 小径木 横ばい	
		18~22	8	-	7		
		24~28	8.5	-	7		
		18~20	18	-	6		
	桧	3m	6~8	本120	-	本120	桧 中目材 横ばい 柱材 横ばい 小径木 横ばい
			9~13	本300	-	本140	
			14細	15	-	10	
			14~16	22.5	-	19.5	
18~20			22	-	19.5		
22~24			19	-	15		
4m		26cm上	19	-	15		
		7~11	本330	-	-		
		12~13	-	-	-		
		14cm	18	-	13		
		16~18	26	-	22		
		20~22	19	-	16		
		24~28	18	-	16		
		30cm上	18	-	16		
6m		14cm	15	-	10	記号 強気配 横ばい 弱気配	
		16cm	34	-	28		
	18~20	34	-	28			
	22cm上	20	-	15			
松	3m	18~24	8	-	5		
	4m	24~30	10	-	5		

乾しいたけ (10月22日)

- ・ 出品数量 5.8 t
- ・ 価格高値 6,000円
- ・ 総平均 4,050円

品柄	価格		相場
	平均	高値	
香信大	4,590	4,870	
香信中	4,350	5,510	
香信小	4,060	5,530	
小間	-	-	-
香信山成	4,210	4,400	
バレ大	3,540	4,670	
バレ中	3,210	4,590	
スライス	3,400	4,520	
花どんこ	5,350	5,350	-
上どんこ	5,050	5,690	
並どんこ	4,260	5,770	
並並どんこ	3,150	5,130	
小玉どんこ	1,980	2,330	
山成どんこ	2,540	4,090	
こうこ	4,940	6,000	

価格：円/kg

(相場)

強： 保合： 弱保合： 弱：

資料：岡山県森連椎茸共販所市況速報

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値。

製材 (12月中旬)

樹種	寸法	等級	区分	安値~高値
スギ	正角 3m 10.5cm角	特等	G	28,000~35,000
		特等	K	45,000~50,000
	正角 3m 12cm角	特等	G	28,000~35,000
		特等	K	45,000~50,000
ヒノキ	正角 3m 10.5cm角	特等	K	55,000~70,000
	正角 3m 12cm角	特等	K	55,000~70,000
マツ	平角 4m 10.5~12cm x 15~18cm	一等	G	35,000~40,000 KD 60,000~65,000
		特等	G	45,000~49,000
米マツ	正角 3m、4m 10.5cm角	特等	G	45,000~49,000
	平角 3m、4m 10.5 x 15~21cm	特等	G	45,000~49,000
北洋アカマツ	タルキ 4m 3.8cm角	特等	K	64,000~69,000
ホワイトウッド	間柱 3m 2.7cm x 10.5cm	特等	K	45,000~52,000

注：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。

安全・人と自然・調和

造林木を野生動物の食害から守る

- 〔野生獣類忌避剤〕コニファー水和剤
- 〔幼令樹保護カバー〕くわんたい
- 〔樹皮食い防止に〕バークガード
- 〔野生草食獣食害防止〕防獣ネット
- 〔クズ専用除草剤〕クズノック・ザイトロン・ザイトロンフレノック
- 〔樹幹注入剤〕センチュリーエース

(お問い合わせ申し込みは県森連・森林組合へ)

販売元：日植アグリ株式会社

TEL：086-292-5525

大同商事(株)大阪営業所

TEL：06-6231-2819



緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助
治山・林道の調査、測量、設計、積算
森林整備の総合計画

(社)岡山県治山林道協会

岡山市中区高屋225・1 TEL 086-271-3711
津山市二宮1849・2 TEL 0868-28-9360



「緑の募金」ご協力をお願いします

募金期間
春のみどりの月間
4月1日～5月31日
秋のみどりの月間
10月1日～10月31日

緑の募金でふせごう地球温暖化

森林は生命のコミュニティ

(社)岡山県緑化推進協会
岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX(086)221-9511

公園・街路修景施設の設計・製作・施工
その他木製品の注文承ります



株式会社 フォレスト

〒702-8058 岡山市南区並木町二丁目16番22号
TEL086-265-7350 FAX086-265-1841

緑豊かな未来のために

水源林造成

独立行政法人 森林総合研究所
森林農地整備センター中国四国整備局

〒700-0826 岡山市北区磨屋町2番5号
TEL(086)226-3295 FAX(086)231-6344

サンケイの松くい虫防除薬剤

多目的使用(空中散布・地上散布)ができる

スミパイン[®]乳剤

樹幹注入剤 グリンガード[®]
グリンガード[®]エイト

お問い合わせは 県森連・森林組合へ

伐倒木用くん蒸処理剤

キルパー[®]40

伐倒駆除剤

パインサイド[®]S油剤C, D



サンケイ化学株式会社
大阪市淀川区西中島4丁目5番1号 TEL(06)6305-5871

木材共販日のご案内

岡山県森林組合連合会



本年もお引き立ての程、宜しくお願ひ申し上げます。

- 1/9 (土) 初市 <勝山・津山共販所>
- 1/13 (水) 初市 <新見共販所>
- 1/29 (金) 大径材祭り <津山共販所>



◆各共販所とも多くの出材をお待ちしております

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

間伐材利用植生基材マット	間伐材利用植生マット	間伐材利用生分解型植生マット	間伐材利用生分解型植生シート	間伐材利用植生シート
グリーンフォーマット 〔切土軟岩用〕 	森樹郎マット 〔切土土砂用〕 	森樹郎マット21 〔切土土砂用〕 	張りウッド 〔盛土用〕 	ハリシバモック 〔盛土用〕



「岡山県エコ製品」の認定を受けた5品目
間伐材を有効利用した環境緑化資材です。

NETIS登録：CB-010046-A 間伐材利用植生マット工法「森樹郎(シンキロウ)マット工法」

太陽と緑の国づくり
Nihon 日本植生株式会社

<http://www.nihon-shokusei.co.jp/>
岡山営業所/岡山市北区横井上1328-2 TEL (086)294-1000
津山営業所/津山市高尾573-1 TEL (0868)28-0256

林声 平成二十二年一月一日(四〇九号)

FOREST INSURANCE

森林 国営保険



加入できる森林は？ 人の手が加わった森林
 加入期間は？ 1年単位で何年でも！
 保険金がでるのは？
 火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では過去3年間に20億円以上の保険金が支払われました。

ご契約のモデルケース(1haあたり)

樹種...ヒノキ 契約時林齢...1年
 保険期間...5年 保険金額...最大188万円
 一時払いだと21,225円(5年間計)

樹種...ヒノキ 契約時林齢...26年
 保険期間...5年 保険金額...最大299万円
 一時払いだと37,375円(5年間計)

1ヶ月あたり 約350円 → わずか缶ビール 1本分

1ヶ月あたり 約620円 → わずかラーメン 1杯分

保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。

条件によって契約金額が変わってきます。

ご相談は、最寄りの森林組合、県民局(森林整備課)・地域事務所(地域森林課)の窓口へどうぞ。

岡山県農林水産部治山課

電話番号 086(226)7455(直通)

編集 岡山県庁林政課内
発行人 岡山県林業改良普及協会